

2023年度 学校関係者評価報告書

学校法人湘中央学園
湘中央生命科学技術専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人湘中央学園 湘中央生命科学技術専門学校 学校関係者評価委員会は「2023年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて保護者、卒業生、業界関係者による学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

1. 教育理念・目的・育成人材像

教育理念・目的・人材育成像は明確に定められており、生徒、学生便覧、保護者説明資料、学園報等で周知はできているが、保護者との意見交換ができていないため、将来的にはEラーニングを使用して、アンケート形式で意見が聴取できる方法を検討したい。

2. 学校運営

自己評価は全項目において「適切」の評価としたが、近隣住民からの苦情が度々発生しており、近隣からの学校運営の理解、信頼の確保が課題となった。特に生徒の喫煙が苦情件数として最多だったため、外部委員からは、生徒に社会ルールの教育を徹底するよう意見が挙がった。

3. 教育活動

カリキュラムマップが未整備であること、教員の研修、学会等への参加が不十分であること、国家試験のサポート体制ができていないことが問題点としてあげられた。今後はマップの整備しっかり行い、教員の研修参加も今以上に促していく。国家試験のサポート体制については、今後の検討事項としたい。

4. 学修成果

応用生物科学科では退学者の発生が問題であり、今後は中途退学者の減少につながるよう、細やかな指導を行う。愛玩動物看護学科においては、国家試験の合格率が、他の養成校の平均以下となってしまう問題である。いずれにおいて、今後は入学前のミスマッチを防ぎ、入学後もモチベーションが維持できる取り組みすること、合格率がアップする体制をつくることなどを検討していきたい。

5. 学生支援

各評価項目において、適切に実施されていると認識している。将来的に同窓会組織のご協力をいただき、卒業生にキャリア支援室の利用ができることを周知させたい。

6. 教育環境

応用生物科学科では、実習機器の経年劣化が進んでおり、授業への影響は出ていないものの、今後、計画的に取り替えを行っていく。救急救命学科では教育に必要な設備として、体力増強を目的としたトレーニング施設を用意する。しかし、学内に機器を設置できる空間がなく、全国展開するスポーツジムの運営会社と法人契約を検討している。生徒は学校近隣もしくは自宅近隣の店舗で効率的に利用できるようにする。現在、運営会社側と契約に向けた調整に入っている。

7. 学生の受入れ募集

高等学校への情報提供、学生募集活動は昨年と同規模で行っていたが、今年度は入学定員に対し、入学者が非常に少ない結果となってしまった。学園としては、重大な問題だと認識しており、全教職員は現状の把握、原因の精査に努め、次年度の入学者数を増やすよう取り組んでいく。特に、従来はなかった新たな発想、方法で広報イベントを計画し生徒獲得に努める。

8. 財務

特に大きな問題はなく、健全にすすめられている。また、決算終了後は財務状況を学園ホームページ内で適切に公開されている。

ただし、入学者減に伴う減収の影響は大きく、広報活動の充実化、中途退学者の阻止、他にも身近な経費削減策を推進し、経営の安定化を図っていく。

9. 法令等の遵守

所轄官庁への定期報告義務、職業実践専門課程として評価結果の公開義務があり、いずれも適切に実施されている。

10. 社会貢献・地域貢献

応用生物科学科、愛玩動物看護学科においては、外部組織が主催するボランティアへ生徒が参加できる環境にはあったが、生徒自身の意欲がなく、教員側から呼びかけでも希望者がでなかったため低評価とした。今後も機会があるごとに参加呼びかけを行い促して行きたい。

救急救命学科においては、多くのボランティアに教員、生徒が一緒になって参加できているため、適切と評価した。